

第45号

平成28年
7月4日

みどりの風



医療法人 みどり会 枚方市藤阪中町3番20号 ☎072-868-2071
URL <http://midori.jpn.org/> E-mail midorii@io.ocn.ne.jp

社会福祉法人 松樹会 枚方市交北2丁目10番1号 ☎072-898-2197
URL <http://www.syoujukai.org/>

編集責任者：理事長 中村 猛
編 集：季刊誌編集委員会



第45号御挨拶

理事長 中村 猛



皆さん、こんにちは。

梅雨シーズンに入り、あたりの田園では満々とたえた水田に植えられたばかりの稻が初夏の陽光を浴び、ぐんぐん背丈を伸ばしています。

毎日毎日を人との交わりの中で忙しくしていると、そっと窓の外の自然の移り変わりが大変ありがたく感じられます。自然は人間に対してある時はやさしく包み、又、ある時は我々を戒め、諭し、奢りを制裁します。

我々はいつまでも自然のルールの中で謙虚に掟を守り正しい生き方をしたいものです。

まず、健康で次に家族、友人を大切に、次に仕事をしっかり行って、次には趣味や相手を思いやる奉仕等でしょうか。毎日毎日を充実して暮らしたいものです。

- さて、組織、団体での仕事の効率を上げるには、やはりやりがいを持って楽しく、仲間と連帯感を持った和でないと、良い仕事は出来ません。
- のために話し合う場として会議は必須条件ですが、そのYes、Noを決める集団の合意は、やはり会議を離れた場である懇親会等で胸襟を開いて心を割って話し合い、相互の友情信頼関係を築くことでしょう。
- 私たちの職場もその永遠の課題に対して、はてしなく努力し、築き上げております。目標を決め、ゴールに達すれば、又、新たな目標のスタートに入ると、その繰り返しの中に、道は定まっていくと思います。
- 暑さ厳しくなりますが、くれぐれもご自愛下さい。



中村病院拡大充実計画

中村病院 事務部長 松永勝浩

中村病院が長尾駅前に移転して3年半が経過しました。その間、外来患者様の大幅増、又入院においては回復期リハビリ等のリハビリのニーズが以前にも増して高まり、各所が手狭になり、患者様からも様々な要望が出て参り病院の拡大、充実が不可欠となっていました。

今回の増築の主な内容として、①リハビリ訓練スペースや回復期リハビリ病棟(室)の拡大 ②外来患者様の大幅増により診察室、待合スペース等の拡大 ③アメニティーの充実(売店、談話室、面会スペース等) ④健診センターの設置 ⑤職員の職場環境の改善(院内保育所、更衣室、休憩室等整備) 以上の5点です。

増築工事が完了した暁には、今にも増して職員一丸となって医療・技術面の充実を図りながら地域の皆様に、より一層、安心・安全・信頼される質の高い医療サービスが提供できるよう努力して参る所存です。



イメージパース



整形外科2016年度新体制のご報告

整形外科部長 岡本 尚史

2012年12月に現在の地に中村病院を開設し、3年半が経過いたしました。現在の中村病院整形外科の体制は、2012年10月から浅田が初代部長として始まり、2014年7月より私が2代目部長として就任し現在に至ります。当院整形外科のモットーは、地域の皆様のかかりつけ医として、患者様1人1人の状態に合わせて、薬剤治療、注射治療、リハビリ治療、装具治療、手術治療を組み合わせ、最善の治療を提供できるようにすることあります。また微力ながらも、地域の基幹病院としての働きを果たすために、入院加療の必要な患者様の受け入れを積極的に行っていくことあります。

2015年4月には枚方股関節センターを開設し、外傷と股関節慢性疾患に対しては、特に積極的に治療を行って参りました。ただ、容易に手術治療を選択するのではなく、患者様と十分に話し合い、リハビリ治療を提供し効果を十分に評価した上で、手術治療を選択するように心がけております。また、手術治療はあくまで治療の始まりであり、しっかりとリハビリ治療との組み合わせでこそ効果を十分に発揮すると考えており、術後リハビリ治療には特に力をいれて行っております。

- 2016年1月に津田医師が就任、2016年4月には足の外科・スポーツを専門とする塩路医師が就任し、2016年度は常勤3人体制となり、下肢全般の慢性疾患に対応可能となりました。
- スタッフの充実と共に、2016年度は月曜から金曜まで毎日整形外科夜診を開始し、日中だけでなく夜間も患者様を受け入れることが可能となりました。

- 今まで大学病院などで培ってきた医療技術を、リハビリ加療を十分に提供できる当院で活かすことにより、地域の皆様方の医療に貢献できればと考えております。

- スタッフ一同全力で頑張っておりますので、皆様のご支援、ご愛顧何卒よろしくお願ひいたします。



塩路

岡本

津田



整形外科赴任のご挨拶

整形外科部長 塩路 傑



2016年4月から中村病院の整形外科へ新任となりました塩路 傑と申します。大阪府出身です。

大阪の中でも、中村病院が建つ枚方市の隣にある交野市で生まれ育ちました。大学入学まで交野市に住んでいましたので、中村病院の周辺地域には、子供の頃から足を運ぶ機会が多く、沢山の思い出があります。

この地を離れて20年以上経ち、もう戻ることは無いだろうと考えていましたが、生まれ故郷の近くで勤務させていただけることになりました。これも何かの縁かと思います。

- 平成14年に滋賀医科大学を卒業後、滋賀医科大学整形外科の関連病院で、骨折や外傷を中心に整形外科疾患の症例経験を積み重ねました。大学病院に戻った後は下肢関節グループの一員として勤務してきました。特にこの数年は足関節・足の外科に力を入れ、国内外で研鑽を積んでまいりました。足（“すね”から下）のことでお困りのことがありましたら、何でもご相談ください。これまでの経験を生かし、お役に立てればと思います。

- 今後は、新しく赴任しました中村病院に関わる皆様に少しでも貢献できるように一生懸命頑張る所存です。

- どうか皆さま、ご指導のほど宜しくお願い致します。

中村記念クリニック・みどりの館



みどりの館でショートステイプランをはじめました

みどりの館 事務次長 石脇 真

当施設のショートステイプランは、介護保険を利用しない自費でのサービス提供になります。是非利用してもらいたい方として、併設の中村記念クリニックでの充実したリハビリテーションを利用したい方、退院が決まっているが一人暮らし不安な方、同居家族の不在時（旅行、入院等）、この先、施設への入居をお考えの方などまずはご相談ください。

今後も、みどりの館の特徴である充実した医療サービス提供体制を活かし、皆様に喜んでもらえる新サービスを提供してまいりたいと考えております。お近くに来られた際には是非施設をご覧ください。

料 金

1泊 **5,000円**

1泊2日から最長6ヶ月まで（光熱費込の特別料金となります）

設 備

キッチン・バス・トイレ・洗面・エアコン・クローゼット・家具・テレビ・冷蔵庫



0120-033-377

お問い合わせ：橋本まで

m 施設開放の取組み

事務長代理 高杉孝博

なごみの里では、月に一度、地域住民の皆様を対象に施設開放を実施しております。開放日は、毎月テーマの変わる健康教室の開催や様々な運動機器の使用、また喫茶コーナーや福祉用具展示コーナー等も自由にご利用いただけます。参加者の皆様からは「月に一度ではなく、開催頻度を増やして欲しい。」「様々な運動器具やマッサージ器を使用できて良い。」「健康教室がとても参考になっている。」といったお声をいただく一方、「送迎バスがあれば、嬉しいのですが…。」といったご意見も頂いております。

これら貴重なご意見を参考とさせていただきながら、今後なごみの里が地域の皆様の健康づくりに貢献できることを

考え、介護が必要になってからではなく何時でも相談できる施設として、更には地域社会の介護を支える施設として、これからも皆様に信頼していただけるよう努力して参りたいと思います。尚、施設開放は“毎月第4日曜の9時半から12時まで”実施しておりますので、是非お気軽にご参加下さい。



m 農園から元気を届けたい

管理栄養士主任 小野理恵



なごみの里からほど近い場所にある農園は、開設後もなく作られました。土作りから収穫まで担当の職員さんが丹精込めて育てた四季折々の野菜は、なごみの里の利用者様をはじめ、両法人の関連施設の方々からも美味しいと好評です。春のジャガイモ掘りと秋のさつま芋掘りは農園の恒例行事となっていて、参加される利用者様と楽しみを共有できる良い機会となっています。食するだけではなく、直接触ることで、より旬を感じられるのではないでしょうか。これから夏にかけては、太陽の日差しをたっぷりと浴びた胡瓜や茄子、南瓜が収穫されます。

農園の野菜を食べて、より元気に過ごしていただきたいとの願いを込めて、今後も続けていきます。



在宅支援

m 所長就任あいさつ

枚方市地域包括支援センターみどり 所長 伊内康宏



初夏の候、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

この度、平成28年7月1日付けにて枚方市地域包括支援センターみどり勤務となります伊内康宏です。中村病院在任中には、ひとたかならずお世話になりました厚く御礼申し上げます。

さて、枚方市においては、介護予防・日常生活総合事業が

平成29年4月よりスタートします。要支援者と65歳以上のおすべての方の生活支援を一体的に提供する新しい事業となります。「地域で自分らしく暮らす」ためには、この新しい事業などがそれぞれの地域の実情に応じ実施をされていかなければなりません。これから高齢社会を支える一翼を担えるようこれまで培ってきた経験を十分に生かし、地域の皆さんと一緒に絆を育んでまいりたいと考えております。

今後とも変わらぬご指導ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。

m 介護保険の変化の先にあるものは

ケアプランセンターなごみ 所長 佐藤嘉枝

介護保険制度は、3年毎と制定されている改正の度に複雑で難解なものとなってきております。

そもそも介護保険制度は「高齢者の介護を社会全体で支えあう仕組み」として始まりました。あれから15年以上が過ぎ、現在の日本は超高齢化社会へと突き込んでおります。人口減少による働き手不足が加速している社会の中で、今後も増大する高齢者の要望に対応するために、新しく『総合事業制度』も開始されようとしています。

介護保険制度はその半分が一般財源からの税金で、残りの半分が介護保険料で成り立っています。想定以上とも言われる

利用者の増大により現行では制度の維持継続が困難となった今、様々な新しい仕組みつくりをすることにより何とか高齢者の方々を支えあおうという方向へ、今も制度は見直されています。度々ある制度改正で、介護保険の原点である「社会全体で支えあう仕組み」が本質まで変わってしまうほどに変化（へんか）してしまうのか、それとも私たちを救済し守護する形へ変化（へんげ）してくれるのか。それはこれからの、私たち自身の向き合い方にかかっているかもしれません。



グループホームの取り組み

たんぽぽ田口 介護主任 岩崎潤一

たんぽぽ田口では自然や生き物との触れ合いを大切にしています。

テラスに咲き誇る花々、裏の畑に実っている夏野菜、水槽で元気に泳ぎ回る熱帯魚や金魚。施設の隣には田んぼがあり、田植えから刈り取りまで稻の成長が楽しめ、この時期の夜には蛙の大合唱が夏を感じさせてくれます。

テラスのフェンスには一年中雀が集まり、入居者様やスタッフが餌を撒くのをまだかまだかと待っており、その可愛い姿を見るのがみんなの楽しみになっています。

とても良い季節になってきたので、今は園芸に力を入れています。入居者様の中には花を育てるのがお好きな方や、以前畑仕事をされていた方がおられ、苗を植えるタイミングや

手入れの仕方など、事細かに教えて頂けます。昨年は大きなスイカがたくさん収穫できました。

このような自然との触れ合いは入居者様の楽しみであり、また認知症の進行予防にも効果があります。

みんなの笑顔が溢れる施設であり続けていけるよう、恵まれた環境を十分に活かしていきたいと思います。



いこいの里ショートステイ

生活相談員 副主任 伊藤侑子
介護部 副主任(ショート担当) 古市恵美

平成26年10月よりショート部屋を三階に集約してから、約1年半が経ちました。初めは何をしたら良いのか、どのように利用者様を迎えたら良いのか…いろいろと考え実践してきました。

いこいの里のショートステイでは

- 1、利用者様のペースで気持ち良く過ごして頂きたい。
- 2、利用者様と同じ時間を楽しみたい。

天気の良い日はテラスでの昼食や近くの神社へ行き、季節を味わって頂き、家族様の要望も取り入れていく様、心掛けています。

毎月、利用者様と一緒に手作りカレンダーや季節の風景

など作成しています。またユニットで調理が出来るメニューは皆さんと一緒に調理を楽しんで食べていただいている。これからも温かな雰囲気のユニットになる様、スタッフ一同頑張っていきますのでよろしくお願ひします。



m 熱中症の正しい知識と対処法について

中村病院 薬剤部長 岡田順子

地球規模の温暖化により。夏に熱中症になり、入院する人が増加しています。ところで、人の体の水分量を知っていますか？赤ちゃんは70～80%、成人60%、高齢者50% 年齢が上がるにつれて体の水分量は減少していきます。

体に入る水の量（飲み物など）と出て行く量（汗・尿）が同じなら良いですが、入る水の量より出していく水の量が多いと脱水が起き、その症状を熱中症と言います。

これは、水分の摂取量が少ないと汗を搔くことが出来ず、熱を下げるなり高体温となって臓器障害をおこし、

命にかかる事態になります。猛暑で熱中症にならないための予防として、のどが渇いていると感じなくとも、定期的に（30分～1時間に1回）水分補給してください。お茶の場合は、逆に利尿作用があるので、飲むなら麦茶がおすすめです。また、水の吸収効率の良い経口補水液（OS-1）は地域の調剤薬局にありますので、利用されると良いでしょう。



各施設連絡先

社会福祉法人 松樹会

特別養護老人ホーム いこいの里 072-898-2197
デイサービスセンター いこいの里

サテライトいこいの里 072-849-2210

グループホーム たんぽぽ田口 072-898-2193

居宅介護支援センター つくしんぼ 072-898-2196

ケアハウス つくしんぼ長尾 072-868-2190

デイサービスセンター 長尾

ケアハウス つくしんぼ藤阪 072-868-2191

グループホーム たんぽぽ藤阪 072-868-2197

医療法人 みどり会

中村病院 072-868-2071

中村記念クリニック 072-868-2070

有料老人ホーム みどりの館 072-868-2727

介護老人保健施設 なごみの里 072-868-2072

ケアプランセンター なごみ 072-818-7533

サテライトなごみの里 072-818-2071

デイサービス長尾の里

グループホーム たんぽぽ長尾 072-868-2195

訪問介護ステーション みどり 072-868-4392

高齢者サポートセンター みどり 072-845-2002

みどり保育所 072-850-7550

編集後記

私事ですが今年、自治会の役員当番の年にあたり新年度総会、月次の打合せ会、ごみのカラス対策、夏祭りの準備等に追われています。今まで任せきりでしたので恩返しのつもりで精いっぱいやろうと頑張っております。

季刊誌みどりの風夏号は中村病院拡充計画概要、整形外科2016年度体制、有料ホームのショートステイプラン、老健施設の無料開放、なごみ農園だより、グループホームの取り組み、これから夏を迎えての熱中症対策等々掲載しておりますのでご一読いただければと思っております。

みどりの風編集委員会

連絡先 ☎072-868-2071 法人本部 松田